

# 南の風



柏市立風早南部小学校  
校長 伊藤 喜美子



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、  
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子



## 自ら考えるとは？

暖かなというより暑い秋の日が続いていますが、時おり吹く秋風の心地よさに、季節の移ろいを感じる今日この頃です。そのような中、子どもたちは、持久走練習に取り組んでいます。自分のペースで最後まで頑張れるように声をかけ励ましているところです。

さて、10月の全校集会で、学校教育目標の「自ら考える」について話をしました。この「自ら考える」という力は、急激に変化する現代社会において必要不可欠な力です。学校生活や学習に対して自分事として考え、粘り強く生きていく力を育てていきたいと思っております。

「自ら考える」について子どもたちだけではなく、我々教職員も校内研修の中で改めて考えました。「自ら考える」力が育っているのかを測る調査項目を考えていき、その中に「学校生活目標を守るために、自分ができる事を考えていますか？」という項目が出されました。学校生活をよりよくするために自分ができる事を考えていくことは、まさしく「自ら考える」力になります。そこで、今月の全校集会では「自ら考えていますね！」と題して、学校の中で自ら考えている児童の姿を紹介しました。

まず、紹介したのは生活委員会の取り組みです。校舎内の色々な場所に掲示している「もへじくん」というキャラクターがいます。この「もへじくん」が「校内に何人いるのか？」というクイズを出し、校舎内にもへじくんを探すイベントを開催しました。全校集会の中では、なぜこのような企画を考えたのか？生活委員会の皆さんから伝えたいことは？等、インタビュー形式で全校の皆さんに話してもらいました。「もへじくん」は今年の150周年を記念して誕生した生活委員のキャラクターであること、「もへじくん」は、学校の守り神で、廊下や階段等の生活をする上で気を付けて欲しいところにいること、も：ものを大切に使いへ：へんじや挨拶を元気よく　じ：時間を守れる南部っ子のキーワード・願いがあること、さらに、元気よく気持ちの良い挨拶をして、安全な学校生活を皆さんで心掛けていきましょう！と話してくれました。どうしたら安全に学校生活が送れるのか？を自分たちで考えて、このような行動をしたことは大変立派なことです。これからは、「もへじくん」を見るたびに、挨拶や安全に気を付ける、ということを全校で意識して生活ができることでしょう。

また、「自ら考える」姿として他にも紹介しました。ある学級の雑巾かけに「ぞうきはきれいにかけよう」という掲示があり、いつ見てもこのクラスの雑巾かけはきれいでした。また、持久走練習がスムーズにできるように、登校してすぐに校庭に出てラインを引いている体育委員の皆さん。パンジーの苗を花壇に丁寧に植えている栽培委員会の皆さん。等々…それぞれの委員会活動や学級で懸命に活動している子どもたちを見ると、「自ら考えているなあ」と嬉しく思います。

2学期も2カ月足らずとなり、学習も生活も充実期を迎えます。子どもたちが、「自ら考える」力を育めるように見守っていきたいと思います。これからも保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

